

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市戦災復興記念館		
2 指定管理者	仙台ひとまち交流財団・東北共立グループ		
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和6年度 93,140人(前年度比 103.6%) ・令和5年度 89,890人 ・令和4年度 22,600人 ※令和4年4月1日から令和4年11月30日まで改修工事のため休館していた。		
	《事業》 ・施設の管理運営 ・自主事業の実施 ・戦災復興展の開催 ・平和学習事業		
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 128,423千円 (126,164千円) ・ その他市が負担した費用 2,019千円 (2,690千円) 《収入》 ・ 使用料収入 27,808千円 (29,372千円) ・ その他収入 1,004千円 (1,301千円)		
	()は前年度決算額		
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケートの実施(令和7年2月1日～令和7年2月28日)		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	戦災復興記念館の設置目的を十分に理解し、条例や協定書、仕様書等を遵守し、適正な業務を行っている。戦災復興展の実施をはじめ、青葉区まちづくり推進課と連絡、情報共有を密にし、着実な運営を行っている。	45/45
II 施設の運営管理体制	各職員がそれぞれの配置と業務内容を適切に把握しており、円滑な運営を行っている。仕様書等に基づき適切に開館しており、指定管理料も適正に執行されている。	31/31
III 施設・設備の維持管理	定期的な点検や修繕対応等、利用者の安全を第一に考えた運営を行っており、事故もなく、適切に施設の安全が保たれている。 経年劣化による空調設備の故障に際しても、代替手段の手配等を迅速に行い、極力貸館業務に影響が出ないよう対応した。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者アンケートにより、「いつも快適に使わせてもらっている」、「対応が丁寧でわかりやすい」などの評価を得ているほか、利用者のニーズ、改善点の把握に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	関係機関と良好な関係を築き、関係機関からの協力を得て、平和学習などの事業を行い、戦争について学ぶ機会づくりに努めている。 また、自主事業(春風メモリアルコンサート)の実施に当たっては、地元の小学校、児童館が出演できるものとし、地域との良好な関係の維持に取り組んでいる。	3/3

三 評価総括

《指定管理者（仙台ひとまち交流財団・東北共立グループ）による自己評価》
【施設の管理運営】 指定管理者として条例や協定書、仕様書等を遵守し、適正な施設の維持・運営管理を行いました。また、インボイス制度（適格請求書等保存方式）につきましては、担当課と連絡を密にし、適切に事務処理を行いました。 施設維持につきましては、定期的な巡視を行う等により事故防止や危険個所の早期発見に努めました。 暖房設備が経年劣化により故障し貸館業務が厳しい状況となりましたが、これまでの経験を基にストーブ等を迅速に手配する等により貸館業務に極力影響が出ないよう対応し、通常と変わらない利用とすることができました。 【自主事業の実施】 事業につきましては、地元有缘のある芸人が出演する「仙台いぐすか寄席」や、仙台クラシックフェスティバルとの共催で実施している「街なかコンサート」の他に、子供達にステージの楽しさを感じてもらう「バックステージツアー」、空きスペースの有効活用として展示スペースを設ける「スカイギャラリー」等、独自の事業を実施しました。また、これまで開催してきました「春風の調べ」は10回を迎えたことから、コンセプトはそのままに「春風メモリアルコンサート」として、記念となる演奏を行いたい個人やグループ及び地元の小学校・児童館が出演するコンサートとして開催し、地域のさらなる文化芸術の振興に取り組みました。 【震災復興展の開催】 震災復興展につきましては、担当課と連絡を密にして、改めて平和の尊さを多くの方に理解していただくよう協力いたしました。また、東北大学や仙台・空襲研究会と協力して仙台空襲について理解していただくよう取り組みました。 【平和学習事業】 平和学習事業につきましては、青葉区まちづくり推進課の担当者やボランティアと連携協力し、小学校や記念館の会議室を使用して出前授業を行い、記念館の設置目的である戦争の悲惨さと平和の尊さを訴える事業に取り組みました。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
震災復興記念館の設置目的を理解し、歴史資料施設・地域施設等多面的な性格を持つ施設として、条例、協定書、仕様書等を遵守して適切な運営、管理を行った点を評価する。 震災復興展の開催などのイベント実施時に限らず、常に青葉区まちづくり推進課との連絡・情報共有を密に行い、着実な業務運営を行った点を評価する。空調設備の故障に際しては、迅速にストーブ等の代替手段を確保し、利用者への影響を最小限に留めた。 「仙台いぐすか寄席」、「街なかコンサート」、「バックステージツアー」、「スカイギャラリー」、「春風メモリアルコンサート」等多彩な独自事業を実施し、地域のさらなる文化芸術の振興に取り組んだ点を評価する。 震災復興展については、青葉区まちづくり推進課と連絡を密にし、東北大学や仙台・空襲研究会とも協力して仙台空襲の理解促進に取り組んだ点を評価する。 平和学習事業についても、青葉区まちづくり推進課の担当者やボランティアと連携協力し、小学校や記念館の会議室を使用して出前授業を行い、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴える事業に取り組んだ。このような事業展開を行った点を評価する。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：青葉区まちづくり推進部まちづくり推進課